

会議録

1 附属機関の名称

犬山市史編さん委員会（専門部会）

2 開催日時

令和 5 年 9 月 23 日（祝） 午前 10 時 00 分から正午まで

3 開催場所

犬山市役所 2 階 201・202 会議室

4 出席した者の氏名

（1）委員

（専門部会委員）羽賀祥二、河西秀哉、岡本耕平、可児光生、中野裕子

（調査執筆委員・調査協力員）久保正明、関口哲矢、岡佑哉、山中海瑠、村山徹、望月友恵、大島敏裕、後藤真司、石川慶一郎、長岡昭雄、富樫幸一

（2）執行機関

（歴史まちづくり課）加藤課長、市野統括主査、鈴木、河寄、河合

5 議題

（1）資料編の構成・内容について

（2）今後の編集スケジュールについて

6 傍聴人の数

0 人

7 内容

1. 開会（羽賀部会長挨拶）

2. 議題

（1）資料編の構成・内容について

【第 I 部 平成時代の犬山】

部会長：欠落していた項目を踏まえて章・節・項を再構成した。この案に承認をもらったうえで議論を進めたい。合併問題は市域拡張の可能性があったという意味で「第 1 章 人口と市域」へ、市民の動きは地方分権・地方創生との関連から「第 3 章 市民の行政参画」として、都市計画・インフラは「第 7 章 都市基盤の整備」としてまとめた等が主な変更点である。

委員：重複するので「第 4 章 教育」では義務教育のみを扱い、社会教育・生涯学習は第 13 章「第 3 節 市民の文化活動」で一括しては。学术交流の章移動は問題ない。

委員：自身の担当分野も問題ない。第3章「第1節 地方分権と地方創生」は、羽賀部会長の収集資料を引き継いで検討する。多文化共生は第13章第5節に組み込む。第3章「第7節 市民の平和活動」の資料が少ない。

※専門部会後確認：第3章「第1節 地方分権と地方創生」は羽賀部会長が担当。

部会長：同じく平和都市宣言、広報の終戦記念日特集くらいしか見つからない。

委員：石田市政時代の中学生平和シンポジウムを扱う。教育分野で引き取る。

委員：スムーズでわかりやすくなった印象。幅広く収集・選定した資料を組み替えて活かせると思う。割当てが何頁になるかによって掲載資料を考える。木曾川流域自治体との連携については地理班・可児委員に委ねる。

委員：第1章に合併問題を組み込むのはよいと思う。第7章「第5節 上下水道の整備」の調査が進んでいない。

事務局：第7章第5節に農業集落排水を入れてほしい。下水道課が担当している。

委員：愛知万博、研究学園都市構想の章移動は問題ない。産廃問題は追加調査をする。国際交流村に関しては、資料を提供して歴史班・久保調査執筆委員に委ねたい。

委員：第9章は第1節＝災害、第2節＝防災・減災の構成とする。「第3章 市民の行政参画」で「第1節 地方分権と地方創生」となっているが、この扱い方でよいか。

部会長：石田市政では中央との関係性ではなく、地方分権の流れで市民の行政参画を促す動きがあったと理解している。その意図があり、ここに入れた。

委員：犬山市は製造業や物流業が盛んなのが特徴的。第8章は全体の産業構造（総論）を示してから各産業（各論）を扱う構成はどうか。

部会長：第8章「第1節 犬山市の産業構造」との変更で問題ない。

部会長：色々と議論いただいた。入れ替え等で面倒をお掛けするが、これで第I部を確定としたい。不具合があれば知らせてほしい。

【第II部 犬山の文化・祭礼と観光】

委員：第1章「第2節 町並み保存」は城下町に限った内容。地理班とコミュニケーションを取り、重複や脱落がないよう慎重に進める。また、第4章第2節第5項の「市民総合大学」、第4章第2節第6項の「市民ネットワーク」は、歴史班と区分けして扱う。第I部で時流が明確になったので、文化財も社会の動きと関連づけて取り上げたい。また、文化財マップのように視覚的に示す資料も検討する。既刊市史とのつながりを考えると、入鹿池、栗栖園地、桃太郎神社の追加調査が必要か。

委員：第4章第2節第1項で扱う「ヒトツバタゴ」は、地理班の資料も提供する。

委員：市民総合大学は、全市博物館構想との関連で歴史文化学部が創設されて以降の動きを取り上げる。生涯学習としては第I部第13章で扱ってほしい。名勝木曾川は、歴史まちづくり課と相談のうえで文化財として扱うか、地理班・自然環境分野（第I部第10章）に託すかを決めたい。

委員：第2章第1節で日本ライン夏まつり納涼花火大会を追加する。

委員：石上祭、豊年祭で「その他主要な年中行事の動向」の情報が少ないため、独立節とせずに組み込むか、掲載しない可能性もある。

委員：平成史で扱うなら、祭におけるジェンダー問題は指摘される可能性がある。

委員：どの祭も変わってきている。祭礼組織の動向として触れることになる。

部会長：第Ⅱ部についても全体の合意を得られたものとする。

【その他の調整】

委員：教育に関して石田元市長にヒアリングの場を設けてほしい。

事務局：調整する。

部会長：入鹿池関連の絵本を第Ⅰ部第9章の防災分野で扱うが、他班で入鹿池は扱うか。

委員：資料が見つければ、レジャー面は観光・文化班（第Ⅱ部）で扱う。

部会長：世界かんがい遺産としては地理班・可児委員（第Ⅰ部第10章）が適切か。

委員：名誉市民はどう扱うか。

部会長：名誉市民、平成年間の公職者名は参考資料として事務局でまとめてはどうか。勲章・褒章の受章者等も調べてほしい。

(2) 今後の編集スケジュールについて

委員：通史編でどう書くかを念頭に置いて資料を整理している。頁数のボリュームを見るため新聞記事を文字起こししてみたが、中略を挟んでも2頁ほどになる。1資料あたり1頁という概算よりは多くなると思う。

部会長：まずは委員自身で原稿作成するのが基本だが、一部サポートが必要な場合は事務局に知らせてほしいとのこと。作成が難しい図表類はどうか。

事務局：図表類の最終的な調整は印刷・製本業者の仕様に含める予定。今後委託する予定の編集支援の業務は、現状、文字起こしを含まないので、作業が必要な場合は早めに知らせてほしい。予算の範囲内で調整する。

部会長：解説は各節に短い説明（1頁程度）を入れるということにしたい。

委員：資料編に解説を付けると、通史編の内容と重複しないか。

部会長：資料編単体を読んだ場合の理解を助けるという意味で、解説を入れる。

委員：本日確定した構成案に基づいて、各委員への割当て頁を再計算する。

委員：本文ベタ打ちは10ptだが、資料PDFを縮小して掲載するのも許容か。それによって割当て頁数の使い方が変わってくる。

事務局：表内の文字サイズは縮小しても構わない。詳細を決定して各委員に提示する。

(3) その他

- ・次回の専門部会は12月下旬予定（専門部会委員のみ）。詳細は改めて連絡する。